

領域	科目名	単位	時間数	対象学年	開講時期	担当講師
専門分野 I	看護研究演習	1	30	2年次	4月	大野美穂 沼田裕美
授業概要 看護実践の基礎となる科学的な知識体系を発展させるための基礎的知識を理解し、看護研究方法の実践を学ぶ。						
到達目標 1.看護研究における研究の意義とその必要性、看護研究の種類と方法が理解できる。 2.研究を分析的に読むための知識・技術を学び、看護研究を科学的な視野で評価し活用できる能力を養う。 3.文献検索の方法、研究計画書の作成、論文の構成・書き方を理解し、研究のプロセスに沿って研究を行うことができる。						
使用教材 テキスト：ひとりで学べる看護研究 ； 照林社 参考文献：						
評価 研究論文作成 筆記試験 授業計画						
時間・回数	授業内容					方法
4時間・2回	1. 看護研究の意義、必要性 1)看護研究の目的・効果 2)価値から研究的姿勢 2. 看護研究の種類と方法 1)研究の種類 文的研究、調査研究、疫学研究、実験研究、事例研究 2)研究の性質 質的研究方法、量的研究方法					講義
6時間・3回	3. 看護研究のプロセス 1)文献検索 文献検索の実際、文献カードの作成 2)リサーチクエスチョン 3)研究計画書の作成 研究計画書の要素 4)倫理的配慮 看護研究の指針となる倫理の原則 研究プロセスで求められる倫理的配慮 研究の同意書に含む内容 4. クリティーク 1)クリティークの目的、方法 2)クリティークの実際					講義 演習
4時間 2回	5. データの種類とデータ収集方法 1)観察法（参加観察法、非参加観察法） 2)質問紙法（郵送法、留置法、集合法） 3)面接法（構造的面接法、半構造的面接法、非構造的面接法） 6. データの分析方法 1)検定の考え方 2)仮説、帰無仮説の考え方					講義

領域	科目名	単位	時間数	対象学年	開講時期	担当講師
専門分野 I	看護研究演習	1	30	2年次	4月	大野美穂 沼田裕美
時間・回数	授業内容					方法
4時間・2回	7. 統計学的方法によるデータの処理 1) データ処理の考え方・方法 検定方法の選び方 (パラメトリック検定、ノンパラメトリック検定) 8. プレゼンテーションの方法					講義 演習
7時間・4回	9. 研究の実際 1) グループ研究					演習 (グループワーク)
4時間・2回	10. 研究発表					演習
1時間・1回	筆記試験					
備考 ○論文作成やプレゼンテーションを通して、3年次の事例研究、卒業後の看護研究へとつなげていくプロセスを学ぶ。						